

熱海の春

泉鏡太郎

青空文庫

拜啓はいけい

さんじふにちよ
三十日夜、相州酒匂松濤園さうしうさかはしやうたうゑんに一泊いつぱく、間近まぢかに富士ふじを望のぞ
み松原まつばらに寄よする夕波ゆふなみの趣佳おもむきし。

とし
年の瀬せや鷄こゑの聲波なみの音おと

さんじふいちにち
三十一日、小田原見物をだはらけんぶつ、遊女屋軒いうぢよやのきを並ならべて賑にぎやかなり。蒲か
ばやきやのぞ焼屋うであらうを覗あがなき外郎あがなを購あがなひなどしてぼんやりとほ通とほる。風ふう采極さいきはめて
きたはちなだい北八ふちだなに似にたり。萬年町まんねんちやうといふに名代なだいの藤棚ふぢだなを見み、小田原をだはら
の城しろを見るみる。二宮尊徳翁にのみやそんとくをうを祭まつれる報徳神はうとくじんじや社まうに詣まうづ。木き
とりゐはしご鳥居とりゐに階子はしごして輪飾わかざりをかくる状さまなど、いたく神寂かんさびたり。
てんり
天利てんりにて、晝食ちうじき、此この料理屋れうりやの角かどにて小杉こすぎ天外氏てんぐわいしに逢あふ。

それより函嶺はこねに赴おもむく途中とちう、電鐵でんてつの線路せんろに踏ふみ迷まよひ危あぶい橋はしを渡わたることなどあり、午後四時半塔ごごよじはんたふの澤着さげやく。

家いへのかゝり料理れうりの鹽梅あんばい、酒さけの味あぢ、すべて、田紳でんしん的てきにて北きた

八大ちだいふへい不平ふへい。然しかれども温泉をんせんはいふに及およばず、谿川たにがはより吹上ふきあ

げの手水鉢てうづばちに南天なんてんの實みと一把いちばの水すゐ仙せんを交まじへさしたるなど、

風情ふぜいいふべからず。

又またおもひかけず、久保くぼ、飯田爾いひだりやうし氏しに逢あふ。

こゝいちやに一夜いちやあけの春はる、女中頭ぢよちうがしらのおぬひ?さんこねえ（此この姐ねえさん

の名未ないまだ審まびららか、大方おほかた然さうだらうと思おもふ。）朱塗しゆぬり金時繪きんまきゑ

三組みつぐみの杯さかづきに飾かざりつきの銚子てうしを添そへ、喰く摘ひの膳ぜんを目め八分はちぶに捧さげて

出いで來きたる。三つみつうけて屠蘇とそを祝いはふ。

箸はしをお取り遊あそばせといふ喰くひつみ摘みや

十時じふじ出しゆつ發ぱつ、同どう五ご十五じふご分ふん電でん鐵てつにて小田原をだはらに歸かへり、腕車わんしゃを

雇やとうて熱海あたみに向むかふ、此この道山みちやま越まえ七里しちりなり。

しろやまのぞ
城山しろやまを望のぞみて

山燒やまやくや豊公ほうこう小田原をだはらの城しろを攻せむ

此この間あひだに石橋山いしばしやまの古戰場こせんぢやうあり。

山さん中江ちゆうかうの浦うらにて晝食ちゆうじき、古代こだいそつくりの建場たてばながら、酒さけの佳か

なる事こと驚おどろくばかり、斑鯛ふだひの煮肴にざかな、蛤はまぐりの汁つゆ、舌したをたゞいて味あぢはふ

に堪たへたり。

山行やまゆけばはじめて松まつを立てし家いへ

眞鶴まなづるの濱はま、風景ふうけい殊ことに佳よし、大島おほしままで十三里じふさんり、ハジマ

で三里とぞ。さんり

伊豆山にていづさん

門松かどまつやたをやめ通る山とほやまの裾すそ

五時半ごじはん、熱海あたみ着やく。

今朝梅けさばいりん林こんじきに金色夜叉やしやの梅うめを見る、富山とやまた唯繼つぐ一輩いつばいの人じんぶ

物つあるのみ。

兀山はげやまの日のあたる處ところ遣羽子やりはごす（いづれを見ても山家育

ちさ）

紀伊きいの宮樟みやくすわけ分の社やしろまうに詣まうづ、境内けいだいの樟くす幾千歳いくちとせ、仰あふいで襟えりを

正ただしうす。

あけの春はる大樟おほくすのきに雲くもかゝる

なほ例年れいねんに比ひし寒威かんゐきびしき由よしにて梅うめなほ蕾つぼみなり。

梅うめはやき夕暮ゆふぐれ日金ひがねおろしかな

ヒガネと讀よむ、西風にしかぜの寒さむきが當熱海たうあたみの名物めいぶつなりとか。三みしま
 島街道かいだうに十國じつこく峠たうげあり、今日こんにちは風かぜ風かぜぎ氣候きこう温暖をんだん。日ひに三さ
 度雲んどもの如ごとき湯氣ゆげを卷まいて湧わき出いづる湯ゆは實じつに壯觀さうくわんに御座候ござさくらふ。
 後こう便びん萬縷ばんる敬具けいぐ

明治三十五年一月

青空文庫情報

底本：「鏡花全集 卷二十七」岩波書店

1942（昭和17）年10月20日第1刷発行

1988（昭和63）年11月2日第3刷発行

初出：「俳藪 寅一」俳藪発行所

1902（明治35）年1月19日

※表題は底本では、「熱海《あたま》の春《はる》」となっています。

※題名の下にあった年代の注を、最後に移しました。

入力：門田裕志

校正：岡村和彦

2018年3月26日作成

2018年5月5日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<https://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

熱海の春

泉鏡太郎

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>